

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【公開番号】特開2006-223304(P2006-223304A)

【公開日】平成18年8月31日 (2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-24604(P2006-24604)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/19

C 1 2 P 21/02 C

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 5/00 E

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月27日 (2008.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：1 1 2 に示されるアミノ酸配列からなる群から選択されるアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列に対して少なくとも 80 % の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 2】

配列番号：1 1 1 に示されるヌクレオチド配列からなる群から選択されるヌクレオチド配列に対して少なくとも 80 % の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 3】

配列番号：1 1 1 に示されるヌクレオチド配列の完全長コーディング配列からなる群から

選択されるヌクレオチド配列に対して少なくとも 80 % の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 4】

A T C C 登録番号 P T A - 2 4 0 5 のもとに寄託された D N A の完全長コーディング配列に対して少なくとも 80 % の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 5】

請求項 1 の核酸を含むベクター。

【請求項 6】

請求項 5 のベクターを含む宿主細胞。

【請求項 7】

前記細胞が C H O 細胞である請求項 6 の宿主細胞。

【請求項 8】

前記細胞が大腸菌である請求項 6 の宿主細胞。

【請求項 9】

前記細胞が酵母菌である請求項 6 の宿主細胞。

【請求項 10】

P R O ポリペプチドの発現に適した条件で請求項 6 の宿主細胞を培養し、細胞培地から P R O ポリペプチドを回収することを含む P R O ポリペプチドの生成方法。

【請求項 11】

配列番号：1 1 2 に示されるアミノ酸配列からなる群から選択されるアミノ酸配列に対して少なくとも 80 % のアミノ酸配列同一性を有する単離されたポリペプチド。

【請求項 12】

A T C C 登録番号 P T A - 2 4 0 5 のもとに寄託された D N A の完全長コーディング配列によりコードされるアミノ酸配列に対して少なくとも 80 % のアミノ酸配列同一性を有する単離されたポリペプチド。

【請求項 13】

異種アミノ酸配列に融合した請求項 11 に記載のポリペプチドを含むキメラ分子。

【請求項 14】

前記異種アミノ酸配列がエピトープタグ配列である、請求項 13 のキメラ分子。

【請求項 15】

前記異種アミノ酸配列が免疫グロブリンの F c 領域である、請求項 13 のキメラ分子。

【請求項 16】

請求項 11 に記載のポリペプチドに特異的に結合する抗体。

【請求項 17】

前記抗体がモノクローナル抗体、ヒト化抗体又は一本鎖抗体である、請求項 16 の抗体。

【請求項 18】

(a) 連結するシグナルペプチドを欠く配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(b) 連結するシグナルペプチドを有する配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドの細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列；又は

(c) 連結するシグナルペプチドを欠く配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドの細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列；

に対して少なくとも 80 % の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 19】

(a) 連結するシグナルペプチドを欠く配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドのアミノ酸配列；

(b) 連結するシグナルペプチドを有する配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドの細胞外ドメインのアミノ酸配列；又は

(c) 連結するシグナルペプチドを欠く配列番号：1 1 2 に示されるポリペプチドの細胞外ドメインのアミノ酸配列；

に対して少なくとも 80 % のアミノ酸配列同一性を有する単離されたポリペプチド。

【請求項 20】

哺乳動物における腫瘍の存在を検出する方法であって、(a)前記哺乳動物から得た試験試料及び(b)同細胞型の正常細胞のコントロール試料における P R O 2 1 4 3 4 ポリペプチドの発現レベルを比較することを含み、試験試料の前記 P R O ポリペプチドの発現がコントロール試料に比較して高いレベルであることによって前記哺乳動物における腫瘍の存在が示される方法。

【請求項 21】

前記腫瘍が肝腫瘍である、請求項 20 の方法。

【請求項 22】

配列番号：111 から誘導されるオリゴヌクレオチドプローブ。